



第18号

2022.12.21

主な内容	就任のご挨拶	理事 宮野 岳…………… 1	身近な社会資本の見学会 新潟地域整備部長 東海林 晃…………… 4
	「持続可能な社会づくりに向けて」 新潟県土木部長 金子 法泰…………… 2	河川情報モニター実施報告及び 都市公園情報モニター実施報告…………… 5	
	退任あいさつ	前理事長 高橋 猛…………… 2	活動状況報告…………… 7
	20周年記念事業のお知らせ…………… 3	組織図・会員の動向…………… 8	

就任のご挨拶



理事長 宮野 岳

北風が吹きすさび、寒さがひとしお身にしみる季節となりました。

経験した地域の皆様の意識の高さが評価されており、着実に整備されてきた防災インフラも大きな効果を発揮しました。一方、計画を超える異常な自然災害が増加する中で、ハード整備の効果と限界を見極めたソフト対策と防災意識の向上を地域住民、建設業界、行政が連携して進めていく必要性が今回豪雨からも明らかになっています。

会員の皆様、関係機関・団体の皆様には、日頃から、NPO法人にいがた地域創造センターの活動につきまして、ご支援ご協力を賜り心から感謝申し上げます。

高橋前理事長が就任時に示された地域住民、建設業界、行政の皆様が繋がりに有機的に動けるよう、当法人は触媒の役割を果たすべく、防災面を含め、地域に密着した各種事業をさらに推進してまいります。

私こと、高橋理事長の後任として理事長を仰せつかることになりました。どうぞ、よろしく願いいたします。

令和4事業年度は当法人の設立20周年の節目となることで、情報ツールとしてホームページを立ち上げることといたしました。現在、開設に向けた準備を進めており、各種事業活動の情報発信を行うとともに、正会員、賛助会員、関係団体、行政、県民の皆様との情報共有・交換の場として活用してまいります。また、設立20周年にあたり、これまでの事業活動を総括し次の10年に向けての活動のありかたを取りまとめるとともに、事業として記念植樹、記念講演会などを計画しており、詳細はホームページ等を通じて皆様にご案内いたします。

皆様には令和4年はどのような年でありましたでしょうか。当法人では、新型コロナウイルス感染症蔓延のため各種活動に制約が生じ、地域懇談会など一部の事業を中止せざるを得ませんでした。そのような中でも、「河川情報モニター」、「都市公園情報モニター」の実施、各種講習・セミナーへの講師派遣、「身近な社会資本の見学会」では「新潟工業高等学校」の生徒35名による通船川及び福島潟水門工事現場の体験学習、各種支援事業など、関係機関、団体の皆様と連携した事業活動を展開してまいりました。

令和4年は暗いニュースが多い中で、サッカーではアルビレックス新潟がJ2で優勝、6シーズンぶりのJ1復帰を果たし、新潟県民には非常に嬉しい出来事となりました。令和5年がJ1での飛躍の年となりますよう、また平和で安心な年となりますよう願っております。

令和4年夏本番の8月3～4日、県北地域で、気象庁下関観測所の最大1時間降水量が149mm、最大24時間降水量560mm、国土交通省坂町観測所の最大1時間降水量が153mmを記録するなど、驚異的な豪雨に襲われました。河川や内水の氾濫、土砂災害などで下越の住宅被害は2千4百棟余りに及んだ他、農業、公共インフラに甚大な被害が生じております。被災された皆様には心からお見舞い申し上げますとともに、復旧事業に取り組まれている建設関係者・行政の皆様のご尽力に心から敬意を表します。

会員の皆様、関係機関・団体の皆様には、当法人の活動につきまして引き続きのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

人命にかかわる被害が無かったことで羽越水害を

持続可能な社会づくりに向けて



新潟県土木部長 金子法泰

特定非営利活動法人にいがた地域創造センター会員の皆様には、日頃より河川巡視パトロール等新潟県土木行政の推進に向け、ご支援・ご協力賜り感謝申し上げます。

令和2年1月に国内で初めて新型コロナウイルス感染症の罹患者が報告されてから3年になろうとしています。感染者数の増減が繰り返される中で、政府は今年10月11日に入国者総数の上限撤廃等を行い、傷んだ国内経済の更なる回復に努めています。

また、日常生活に密接なエネルギーや食料品等の価格上昇が続く中で、「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」が10月28日に閣議決定されました。

この経済対策は4つの柱で構成されており、その中の1つが国民の安全・安心の確保です。

全国各地で毎年、甚大な自然災害が発生している中で、防災・減災対策の推進は喫緊の課題です。

新潟県においても8月3日から県北部地域を中心に、短時間に集中した記録的な大雨により浸水被害及び土砂災害に見舞われました。自然の猛威を目の当たりにして、ハード・ソフト一体となった一段加

速化した取組を進めていく必要性を再認識しました。

この度の豪雨災害を通して地域の安全・安心の確保はもとより災害で発生したゴミ処理など被災地の多様なニーズに対応していたのが建設産業の皆さんでした。持続可能な社会づくりを進めていく上で、まさにエッセンシャルワーカーとしての役割を果たしています。

令和3年3月に改訂しました第4次・新潟県建設産業活性化プランの目標は『持続可能な社会づくりに貢献する建設産業をめざして』とし、この中で、SDGs達成に向けた取組推進を掲げています。

皆様ご承知のとおり、建設産業はSDGsの17ゴールと密接な関わりがあり、県土木部では令和3年9月に新潟県SDGs推進建設企業登録制度を創設し、これまでに325者が登録されています。

将来の担い手確保のためにも、登録企業の皆さんの取組を広く県民の皆様を知っていただくことが大切であると考えており、情報発信に努めてまいります。

結びに、特定非営利活動法人にいがた地域創造センターの益々のご発展と会員の皆様のご健勝を祈念申し上げます。

退任あいさつ



前理事長 高橋 猛

令和2年12月から2年間、当センターの運営に携わらせていただきましたが、このたび理事長を退任することになりました。

第3波～7波に渡るコロナ禍に翻弄された2年間でしたが、その合間を縫って既定の事業を工夫しながらなんとか実施することが出来ました。また、長年の懸案でありました河川モニターの地域偏在と高齢化、公園モニターの対象拡大についても、少しずつですが改善することが出来ました。そして会員相互の情報共有や連絡、当NPO活動を発信するツールとなるホームページも、開設に向けて着々と準備が進められております。これらを担当した各部門の

役員並びにご協力いただいたすべての会員の皆様に、厚く御礼申し上げます。

来年度は設立20周年を迎えます。記念事業の準備も進められておりますが、NPOにとって節目の年であることから、会員の皆様には、既存事業のクオリティを更に高めるとともに、時代のニーズに合わせた新たな取り組みも視野に入れた活動に期待しています。

結びに、社会に貢献する「NPO法人にいがた地域創造センター」のますますの発展と、皆様のご健勝をご祈念申し上げます退任のあいさつといたします。

ご協力ありがとうございました。

20周年記念事業のお知らせ

20周年記念事業実行委員会

にいがた地域創造センターが平成15年に設立・NPOに承認されて、令和5年に20年を迎えることから、令和3年9月に実行委員会を組織し「20周年記念事業」を検討してきました。計画しております記念事業の概要をお知らせいたします。

(1) 記念講演会・祝賀会

- ① 開催日 令和5年10月20日(金)
(記念講演会15時頃から、
祝賀会17時15分からの開催を予定)
- ② 会場 新潟グランドホテル
- ③ 記念講演会
講演を依頼する講師と交渉中、一般県民へ参加者を募集予定
- ④ 祝賀会
感染対策を実施して開催予定

(2) 記念植樹

- ① 植樹場所
・当センターが都市公園情報モニターを担当する「鳥屋野潟公園」と「大潟水と森公園」の2箇所の県立都市公園
・当センター事務局が入居する新潟県建設技術センターの敷地内
- ② 植樹式
・令和5年秋に関係者出席のもと開催予定

(3) 記念品

- ・会員及び賛助会員等へ贈呈

(4) 広報誌「ちいきそぞう」20周年特別号の発行

- ・設立時役員等からの寄稿や20年間の活動記録、記念事業の開催状況などを掲載予定

(5) ホームページの開設

- ・一般県民へのNPO活動の広報、会員間の情報

共有を目的にホームページを開設

- ① 開設時期 令和5年4月を予定
- ② 掲載する主なコンテンツ
・にいがた地域創造センターの紹介、活動状況、会員へのお知らせ、関連リンク
・賛助会員の紹介
- ③ ホームページに使用する写真を募集
下記応募要領を参照

(6) 地域懇談会及び意見交換会

NPO設立時から社会情勢が大きく変化中、今後のNPO活動の方向性を検討するため、地域懇談会と意見交換会を開催

- ① 地域懇談会
・上越、中越、下越の3地区で令和4年10月、11月に開催
・参加者は、各地域の会員代表者とNPO役員など
- ② 意見交換会
・3地区の地域懇談会での意見等を踏まえ、20年間のNPO活動の振り返り、「30年に向けたNPO活動の今後の方向性」について意見交換
・令和5年2～3月頃開催予定
・参加者は、旧NPO役員、地域の代表者、関係機関の代表、NPO役員など

【地域懇談会の開催状況】

下記のとおり開催しました。

- (上越地域) 令和4年10月19日(水)
副理事長、正会員7名、会員OB1名、事務局3名
(中越地区) 令和4年11月7日(月)
理事長、副理事長、正会員10名、事務局3名
(下越地区) 令和4年11月17日(木)
理事長、副理事長、正会員10名、事務局2名



懇談の様子



参加者(上越地区)

【賛助会員の皆さんへ】

計画しております20周年記念事業のなかで、皆様には、記念講演会・祝賀会にふるって参加していただきますようお願いいたします。共に20周年を祝い、交流を深めていただければ幸いです。

また、令和5年4月に開設を予定している当HPへのリンク設定等の意向確認を今後行うことにしています。その際はご検討をよろしくお願いいたします。

ホームページに使用する写真の応募要領

トップページや他のページで使用する写真を募集します。

応募作品 にいがたの魅力・地域活性化に寄与する作品や当NPO活動を表現した作品

(例:にいがたの風景、イベント、建設現場、NPO活動状況等)

応募方法 写真の郵送、または電子データでの送付
作品名、撮影地、住所、氏名(賛助会員の方は会社名)、連絡先を明記

写真サイズは四つ切り程度 写真データは1点10MB以内とし、複数応募の場合は分割送付

応募条件 当NPO法人の正会員及び賛助会員の社員
応募者本人(個人)が撮影した未発表のもの
応募作品は一人5点まで、応募作品の返却はいたしません
採用作品の使用権はにいがた地域創造センターに帰属する作品の使用に当たり、氏名の明示、拡大縮小、トリミングする場合があります

賞 採用作品の応募者にはささやかですが以下の賞をお贈りします
優秀賞5点(5千円相当/1点)、佳作5点(3千円相当/1点)
受賞は一人一受賞とします

応募締切 令和5年2月28日(火)必着(当日消印有効)

応募先 NPOにいがた地域創造センター事務局(P8参照)



身近な社会資本の見学会

新潟地域振興局地域整備部長 東海林 晃

本県の建設産業は、将来の担い手確保や労働環境の整備、ICT 活用などによる生産性向上、経営基盤の安定化といった課題を抱えており、県では、「持続可能な社会づくりに貢献する建設産業をめざして」を目標に掲げて、建設産業活性化の施策を進めています。他産業よりも就業者の高齢化が進んでいる建設産業が、将来にわたって地域社会に貢献するためには、言うまでもなく、「人材の確保・育成」が必要不可欠です。

当部では、将来の建設産業を担う土木・建築系の高校生に、建設産業の魅力と重要性をより深く知ってもらうため、平成25年からNPO法人にいがた地域創造センターと連携し、「身近な社会資本の見学会」を開催しています。今年は9月12日（月）、14日（水）に、新潟県立新潟工業高等学校土木科1年生35名に参加していただきました。

生徒の皆さんは、12日に「建設産業の役割と魅力」と「通船川の成り立ちと山の下閘門排水機場の

役割」について高校で学習し、14日に「山の下閘門排水機場」と県発注工事の「福島潟水門本体工事現場」を見学しました。山の下閘門排水機場では、小型船に分乗し実際に閘門を通過することで2mの水位差を体感し、排水機場がゼロメートル地帯の広がる東新潟地域を浸水被害から守っていることを学びました。また、福島潟水門本体工事の現場では、工事の目的や進捗状況について説明を受け、現場担当者から「現場の問題を解決することがやりにいにつながっている」ことなどの話を聞きました。

土木施設や工事現場を見学し、現場で働いている工業高校卒業生の話を直接聞くことで、生徒自身が建設産業に就業する姿を想像できたと思います。将来、建設産業の担い手の一人になってもらえることを期待しています。

最後になりますが、豊富な見識に基づき、見学会の企画・運営をしていただいた貴センターの皆様にお礼を申し上げますとともに、今後の益々の御発展をお祈りいたします。

見学会を振り返って（事業部）

■ 先生の感想

新潟工業高等学校 坂井 忠也

1年生を対象に実施していただいております標記見学会、1年生にとりましては、高校入学後初めての校外学習であり、これから本格的に土木を学習する過程において興味・関心を抱く良い機会となりました。当初の計画では、座学と見学会を1日で実施する行程でしたが、授業の都合により2日間に分けて開催をお願いいたしました。

1日目は本校視聴覚室において講義をしていただきました。「建設産業の役割」と題した講義では、建設産業が生活の中で担う役割とその魅力、土木系技術者の業務と地域社会への貢献について、続く「通船川の成り立ちと山の下閘門排水機場について」と題した講義では、新潟市内には数多くのポンプ施設があり人命と財産を守っていること、ゼロメートル地帯の発生要因や通船川の成り立ちとこれまでの変遷など、生徒は関心を抱きながら聴講



しておりました。

2日目は2班に分かれての見学会。山の下閘門排水機場では、小型船に分乗し閘門を通過させていただきました。

2mの水位差は圧巻で、排水機場が果たす役割と重要性を体感しておりました。福島潟水門本体工事現場では、発注者、請負業者の担当の方から水門工事の目的と必要性について説明を受け、改めて社会資本の役割とその重要性を理解したようでした。また、専門的知識が乏しい生徒の質問にも真剣に回答していただき質問した生徒は大変喜んでおりました。

生徒にとりまして、この度の見学会は、知見を広げるきっかけとなったと同時に、未来社会に向けて土木工学の意義とその役割の重要性を認識する貴重な場であったと考えております。皆様のお力添えをいただきながら、これからの社会基盤の整備を担う人材育成に寄与したいと存じます。

最後になりますが、開催にあたり、ご指導ご協力いただきました特定非営利活動法人にいがた地域創造センターの皆様をはじめ、関係機関の皆様へ深く感謝申し上げます。



令和4年（4～9月）河川情報モニター活動状況

県職員が行う通常巡視の補完業務としての河川情報モニター活動は、今年で17年目となりました。令和4年は143名（延べ480名）の会員の協力により、128河川の巡視を無事に行うことができました。ありがとうございました。

地域機関名	地域担当者		巡視河川数	巡視河川延長 (km)	NPO 配置人員	NPO実施回数 延人員
	主任	副主任				
村上	高橋 一男	長谷川哲也	8	11.2	6	11
新発田	出村 豊	渡邊 秀美	1	27.0	10	36
新津	武田 光男	佐藤 俊治	32	118.7	19	68
津川	中野 俊	藤塚 惣一	4	14.8	3	9
新潟	鈴木 孝英	田邊 敏夫	6	45.6	6	12
巻	笹川 岳之	鈴木 潤	7	138.4	13	43
三条	高柳 寿光	久須美憲二	12	107.4	9	35
長岡	吉野 利夫	新保 弘	9	126.6	26	98
与板	吉野 利夫	新保 弘	3	47.0		
小千谷	吉野 利夫	新保 弘	6	37.8		
魚沼	関 浩二	北島 信博	2	36.4	6	12
十日町	樋口 利幸	井口 久雄	10	105.2	8	21
南魚沼	中澤 淳一	諏佐 夏夫	3	30.6	6	22
柏崎	吉田 芳郎	今井 英伸	2	34.4	5	15
上越・上越東	近藤 利章	本田 誠一	9	141.3	16	63
糸魚川	本田 誠一	近藤 利章	3	40.6	4	11
佐渡	小鷹 賢正	藤井 武良	11	56.0	6	24
計			128	1,119.0	143	480



令和4年 都市公園情報モニター活動状況

県では平成19年より都市公園を利用する県民の視点を公園管理（指定管理者への指導など）に取り入れるため、「都市公園情報モニター」を募集しておりました。当センターとしては、平成22年から県立6公園（緑地）7地区を14名で担当しておりましたが、令和4年からは奥只見レクリエーション公園を加え、14地区28名がモニター活動を実施いたしました。

担当された会員の皆様、ありがとうございました。

公園名	担当者	
	主任担当者	補助担当者
紫雲寺記念公園	加藤 勝男	長谷川哲也
聖籠緑地	檜内 睦夫	中野 俊
島見緑地	諸橋 巧	小林 総明
鳥屋野潟公園女池・鐘木地区	久須美憲二	笹川 清栄
スポーツ公園北地区	廣井 厚	鈴木 孝英
スポーツ公園南地区	鈴木 潤	藤塚 惣一
県立植物園	笹川 栄	齋藤 紀良
奥只見レク公園 浅草岳地域	高橋 猛	山ノ内 久
大湯地域	小幡 利永	関 浩二
須原地域	星野 正昭	北島 信博
小出地域	大野 昇	吉田 芳郎
道光・根小屋地域	高峰 正俊	新部 正道
浦佐地域	諏佐 夏夫	松川 真
大潟水と森の公園	本田 誠一	荻原 正彦



活動状況報告

(令和3年11月1日～令和4年10月31日)

令和3年

11月25日 第71回理事・監事会議

- ・令和3年度通常総会議案について
- ・河川・都市公園モニターについて
- ・身近な社会資本見学会について

NPO設立20周年記念事業第3回実行委員会

12月22日 第72回理事・監事会議

- ・令和3年度通常総会議案について
- ・NPO設立20周年記念事業について

令和3年度通常総会

- ・令和2年度事業報告及び収支決算の承認について
 - ・令和3年度事業計画(案)及び収支予算(案)について
- | | |
|-------|------|
| (正会員) | 263名 |
| 内 出席者 | 23名 |
- 委任状提出者240名
(全270名)



令和4年

(4～9月) 河川情報モニター [新潟県からの依頼]

(通年) 都市公園情報モニター [新潟県からの依頼]

1月26日 NPO設立20周年記念事業第4回実行委員会

3月23日 NPO設立20周年記念事業第5回実行委員会

3月25日 河川情報モニター地域担当者会議

4月1日 建設技術協会特別会員部との受託契約

4月29日 第34回新潟県都市緑花フェア
(新潟県スポーツ公園)
高橋理事長が記念植樹



5月18日 NPO設立20周年記念事業第6回実行委員会

5月19日 けんせつセミナー「初任者技術研修」
「災害復旧(1)」講師派遣

5月20日 新潟県土木部職員研修「指導者(課長)」
講師派遣

5月27日 新潟県土木部職員研修「災害復旧(模擬査定)」
実務指導(査定官役) 講師派遣

5月30日 都市公園情報モニター担当者会議

6月2日 新潟県土木部職員研修「河川計画」
講師派遣



6月2日 第73回理事・監事会議

- ・今年度事業について
- ・20周年記念事業について

6月7日 都市公園情報モニター魚沼地区担当者会議

7月21～26日 (万内川砂防公園サマーフェスティバルの一環事業)

パネル展(登録有形文化財万内川石積堰堤群等)

会場: 道の駅あらい(くびき野情報館)

来場者142名 参加会員延べ14名[支援事業]

7月29日 NPO設立20周年記念事業第7回実行委員会

8月4日 万内川砂防公園環境整備事業

(万内川砂防公園草刈り等)

参加会員35名 [支援事業]



8月8日 「身近な社会資本の見学会」の事業実施に向けた担当者会議

8月11日 万内川砂防公園サマーフェスティバル

・来場者1,115名、参加会員26名(昔あそびゲーム)[支援事業]

8月30日 三役・部長会議

- ・NPO設立20周年記念事業について
- ・令和4年度通常総会並びに講演会の開催について

9月12日 「身近な社会資本の見学会」

及び9月14日 [受託事業(新潟県土木部広報事業)参加会員25名]

- ・対象者: 新潟工業高等学校土木科
1年生生徒35名、引率者2名

・実施内容

①室内学習(新潟地域振興局)

身近な社会資本の役割、建設産業の役割、
担い手育成を資料で学ぶ。

②既存の社会資本見学

(乗船体験: 山の下閘門排水機場、通船川)

③建設中の社会資本見学

新潟県発注: 福島潟水門築造工事

10月17日 NPO設立20周年記念事業第8回実行委員会

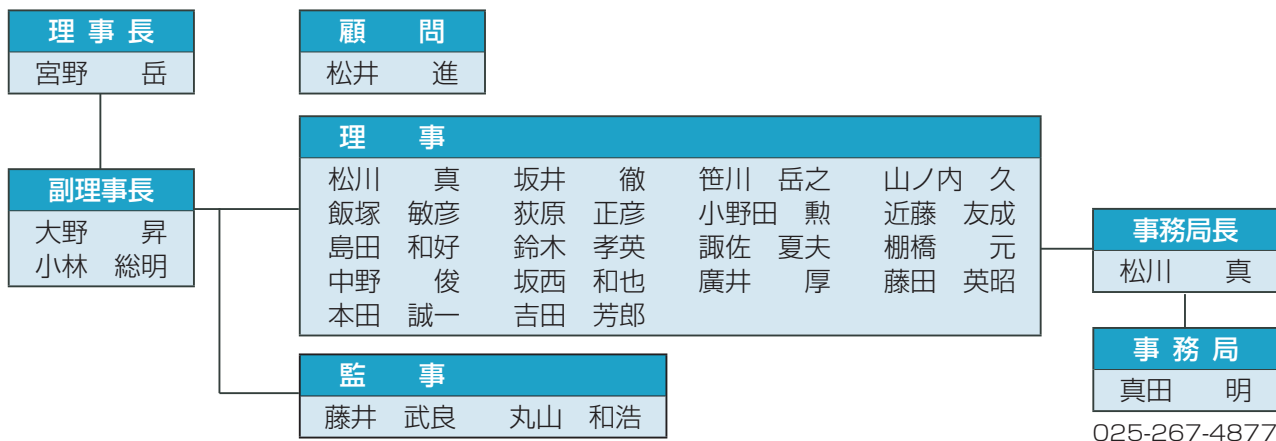
10月19日 NPO設立20周年記念事業上越地区地域懇談会

10月28日 新潟県土木部職員研修「危機管理広報」
講師派遣

総会と合わせて実施している講演会・懇親会、及び地域懇談会、また、支援事業の一部は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、中止または実施されなかった。

組織図（理事21、監事2）

当NPO法人の役員（任期2年）及び各部員は下記のとおりです。



各 部 （◎部長 ○副部長）

総務部					
◎松川 真	飯塚 敏彦	鈴木 孝英			
○棚橋 元	諏佐 夏夫	関 秀明			
企画部					
◎坂井 徹	廣井 厚	吉田 芳郎	吉田 武		
○中野 俊	藤田 英昭	水澤 登			
事業部					
◎笹川 岳之	島田 和好	出村 豊	鈴木 則昭		
○小野田 勲	荻原 正彦	笹川 清栄			
広報部					
◎山ノ内 久	本田 誠一	竹田 一彦	峰村 修		
○坂西 和也	近藤 友成	高橋 浩次			

会員の動向（会員数）

会員区分	設立総会時 H15.6月	平成27年度 H27.12月	平成28年度 H28.12月	平成29年度 H29.12月	平成30年度 H30.12月	令和元年度 R1.12月	令和2年度 R2.12月	令和3年度 R3.12月	令和4年度 R4.12月
正 会 員	164	298	280	274	275	282	272	270	261
賛 助 会 員	個人	—	1	1	1	0	0	0	0
	法人	—	157	159	158	163	165	165	160
計	164	456	440	433	439	451	437	435	421

編集後記

「ちいきそうぞう18号」の編集を無事終えることができました。執筆していただいた方々に心から感謝いたします。

令和4年もコロナ禍は続き、職場、家庭などからの感染で、その脅威を身近に感じた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

しかし世間では、従来の行動制限から社会・経済活動の回復へと方向転換しており、個人として実感できる世の中になることを期待しています。

さて、来年は当NPOが発足20周年を迎え、記念事業が盛りだくさんに計画されています。多くの皆様の参加をお願いするとともに、明るい気持ちでお祝いできることを願っています。(K.K)



特定非営利活動法人(NPO法人)

にいがた地域創造センター

理事長 宮野 岳

事務局

〒950-1101 新潟市西区山田2522-18

(一財)新潟県建設技術センター内3階

TEL/FAX (025)267-4877

E-mail npo-ntsc@kza.biglobe.ne.jp